

28K-pm03

薬学部3年生を対象とした医学薬学専門英語の指導と学習効果の検証

○天ヶ瀬 葉子¹, スミス 朋子², 野口 ジュディー³ (1同志社女大薬・病態生理, ²大阪薬大・薬, ³神戸学院大・グローバルコミュニケーション)

【目的】薬学英语において専門用語の習得は重要であるが、膨大な専門用語を暗記するのは英語が専門ではない薬学生にとって現実的ではない。多くの医学薬学専門用語がラテン語ギリシャ語由来の接頭接尾語を含むことから、これらを覚えることで新出の専門用語でも意味が推測できるようにすること目標に指導を行い、教育効果の検証を行った。

【方法】薬学部3年生約160名に対し、専門用語の指導を開始する前に薬剤師が知っておくべき英語専門用語を20個選別し、これらの和訳を解答させた(pre-test)。次に、約270個のラテン語ギリシャ語由来の接頭接尾語を6回に分けて覚えさせ、小テストを行った。接頭接尾語のリストは印刷したものを配布したが、無料の英単語自習アプリ Quizlet でも学べるようにした。リストには、その接頭接尾語を含んだ単語が例としてあげられているが、小テストには新出の単語も含まれる。小テストは和訳を答えさせるのではなく、英文中の空欄に当てはまる単語を選択肢から選ばせる形式をとった。英文は、薬学部3年生であれば持っているレベルの科学・薬学的知識を盛り込んだものも含めた。pre-test から14週間程度あけた後、同じ問題で post-test を行い、pre-test からの点数の変化を、対応のある t-検定で解析した。

【結果・考察】pre-test と post-test の結果を比較し、t 検定により点数の有意な上昇がみられ、学習効果があったと言える。